


 志す、こころ輝く。
 広島文教大学

— 発行所 —

広島文教大学

 〒731-0295
 広島市安佐北区可部東1-2-1
 Tel:082-814-3191(代表)
 Fax:082-815-6801

CONTENTS

- ① 理事長あいさつ 武田義輝
- ② 学長あいさつ 森下要治
- ③ 1号館特集

- ④ 学生表彰者報告
- ⑤ 「かわなみサイクリングロード」ロゴ制作
- ⑥ 大学ランキングで上位にランクイン

- ⑦ 平成29年度 財務報告
- ⑧ 課外活動ピックアップ
- ⑨ 文教の“今”を発信中

「要は心を育てる教育、知識技能の断片的な教育ではなく教育が生活に結び付く教育、女性の性能伸長教育によって、実力ある、役に立つ、間に合う人間の育成に力を入れているのである。」

雨後の筍のごとく洋裁学校ができる中、単に知識技能を教えるだけではなく、教養課程にも担当教員を配置し、い

学園ができた当時は、敗戦の爪痕が色濃く残り、女性が社会進出することに理解が得られ難い時代でした。創設者は当時を振り返った著書の一節で当時の思いを次のように述べています。

「要は心を育てる教育、知識技能の断片的な教育ではなく教育が生活に結び付く教育、女性の性能伸長教育によって、実力ある、役に立つ、間に合う人間の育成に力を入れているのである。」

雨後の筍のごとく洋裁学校ができる中、単に知識技能を教えるだけではなく、教養課程にも担当教員を配置し、い

学園の歴史について

新人生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新しくはじまる生活に胸を膨らませていることと思います。本学では「心を育て、人を育てる」という教育理念に基づいた教育をしっかりと行っています。皆さんもこの四年間で多くのことを学び経験してください。

学園の改革について

 学校法人 武田学園
 理事長 武田義輝


わゆる全人教育を行ってきたのです。

男女共学化について

それから七十一年が経ち、女性を取り巻く環境は大きく変わりました。女性が働くことは当たり前となり、女性の管理職や経営者も珍しい時代ではなくなりました。男女の別なく、自分の意見も堂々と言うのが当たり前になりました。

そうした社会環境の変化を受けて、本学では、今年から男女共学へと移行しました。

共学化することで、大学の雰囲気は大きく変わると思います。しかし、本学園がこれまで大切にしてきた学生を中心とした教育、単なる知識技能の習得だけでなくその先へ続く長い人生の礎を築く教育を行うことに変わりはありません。

本学園には教職員に向けた行動規範「それは文教生にとってもっとも良いことですか？」というものがありません。これからは、我々教職員は日々の行動の中で常に学生のためにもっとも良いことは何なのかを心がけて教育をしていきます。

新人生の皆さん、一旦一日を大事に、一人ひとりの出会いを大切に、悔いのない充実した大学生活を送ってください。

改革の実質はこれから

新たな一歩を踏み出すにあたって、男子も含め、多くの新人生の皆さんを迎えることができたのは、実に喜ばしいことです。男女共学化・二学部化を断行した結果として、まずは十分に手応えのあるスタートを切る

改革の実りを思う

 広島文教大学
 学長 森下 要治

改革の四月を迎えて

今年もまた、新たな仲間をお迎える季節が巡ってきました。新人生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんのご入学を心待ちにしていました。

そして私たちの大学も、新たなスタートを切る四月となりました。ご存じのように、五十三年間、この地域の女子教育の一翼を担ってきた本学は、高い実績を誇る教育力をそのままだに、今年の四月一日をもって男女共学化し、「広島文教大学」として新たな一歩を踏み出しました。またこれと同時に人間科学部初等教育学科を独立させて教育学部とし、これまで人間科学部一学部であった本学が、初めて二つの学部を抱えることになりました。ですからこの四月は、本学にとっても期を画すこととなったのです。

皆が手を携えて

開学以来のこの大きな改革がスタートを切るまでに、私たちは幾度となく、難題に直面しました。しかしそれらを一つ一つクリアできたのは、準備に関わった教職員の力はもちろんのこと、準備の過程を温かく見守ってくださった在学生・卒業生、保護者の皆さん、地域の皆さんの深いご理解があったからです。これから始まる広島文教大学の教育研究活動が大きな実を結ぶためにも、学生と教職員の、教育学部と人間科学部の、そして地域社会と大学の、緊密な、絶えざる協力が不可欠です。

このキャンパスに集うものが皆が手を携えて前進する—そのような広島文教大学の姿を夢想しています。



部活動「吹奏楽部」

人間福祉学科4年 中廣 彩夏さん



文化展での演奏

私たち吹奏楽部は式典、大学祭、定期演奏会だけでなく、地域のみならずからも依頼をいただき、たくさんの演奏機会に恵まれてきました。部活動を通して、先輩・後輩・仲間との繋がり、一つひとつを着実に作り上げる達成感を得ることができました。部長として部員を思いやる心遣いや、より楽しい活動となるよう創意工夫する自主性も養われたと感じています。演奏を聴いてくれた方々の楽しそうな顔や感想の数々も宝物です。大学生として、好きな活動のできる場に所属し、友人と共に何かを創り上げる経験は、今だからこそ得られるかけがえのないものだと思います。

海外栄養学研修「オーストラリアでの食育活動」

人間栄養学科2019年3月卒 部村 直保さん



食育授業風景

2018年5月にオーストラリアのウェラズヒル小学校で、日本語バイリンガルプログラムに在籍する4年生児童に『野菜を食べて元気になろう』というテーマで2日間の食育授業を行いました。オリジナルの『食育かるた』などを活用しながら、クイズやグループワークを通して野菜・果物の特徴や栄養について楽しく学んでいただきました。

もともと英語が好きでSALC※を利用したり、海外インターンシップに参加したりしていましたが、今回の研修では児童に伝え理解してもらうための様々な工夫や、未知なことに挑戦する大切さを学びました。この学びを保育園の管理栄養士として働く上でも活かしていきたいです。

※SALC(サルック:Self-Access Learning Center)は、BECC(ベック:Bunkyo English Communication Center)内にある自律学習のためのフロア。

文教の“今”を発信中

本学ホームページ

<https://www.h-bunkyo.ac.jp>

広島文教大学

検索


 広島文教大学が
 運営する
 WEBマガジン
 「cocorozasu」
 (ココロザス)

 LINE@
 X
 Bunkyo


ボランティア「Animal Happy Project」

心理学科4年 小林 瑞季さん



呉市動物愛護センターでの散歩風景

1年次に“動物が好き”という気持ちだけで広島市動物管理センターに見学に行きました。“動物はかわいい”だけではなく、多くの問題の犠牲になっていると知り、動物を支えたいとボランティアを始めました。主な活動は、動物管理センターでのお世話、動物の現状を伝えるためのイベント参加、勉強会への参加などです。活動を通じて命の重みを実感し、その大切さを学ぶことができました。また、人前で話す機会が増えて積極性や責任感が増したなど、自分自身の成長にもつながったと感じています。楽しいことも厳しいこともあります、得るものがたくさんあります。一緒に動物を支えてくれる新メンバーも募集中です！

インターンシップ「ベトナム・ハノイでの日本語学校勤務」

グローバルコミュニケーション学科3年 小沼 亜美さん



授業風景

12日間のインターンシップに参加しました。近年、ベトナムから日本へ働きに来る人が増えています。グローバル化が進む日本で働く上で、海外での就業体験がためになると思ったのが参加の動機です。

日本語学校で日本語アシスタントとして勤務し、事前に準備した教材を現地の先生方と協力しながら完成させ、授業ができたときには感激しました。

今回、日本とは異なる生活や文化を体験でき、人の優しさを改めて知ることができました。海外へ行く抵抗感も無くなり、またすぐアジアへのボランティアを計画しました。「海外へ行ってみよう！」と悩まず実行に移してよかったと思っています。

祝・1号館竣工！

このたび新築した
1号館の施設の一部を
ご紹介します。



ラーニングアトリウム

学生のみなさんが登下校や休憩時間に行き交うラーニングアトリウム。ガラス張りの空間で、教育学科の学生たちが模擬授業に取り組む様子を見学することができます。教員採用等での高い実績を支える学びの秘密を目の当たりにすることができるでしょう。学びの可視化を通じて、学科や学年を越えて交流が深まる場所になります。

教職資料室

小・中・高等学校で使用されている教科書、先輩方の作成した学習指導案、授業づくりに関する様々な書籍など“授業”に関するもの、教育実習や保育実習の様子が分かる報告書など“実習”に関するもの、通称「顔晴り」と言われる採用試験に向けた取り組みや試験の実際をまとめた冊子など“採用試験”に関するもの…。教職に関するあらゆる本や資料が閲覧できます。

ICT教育実践室

基礎的な「ITスキル」を身につけるため、2020年度から小学校におけるプログラミング教育が必修化となりました。最新のICT機器を備えた教室で実践的に学び、プログラミング教育の指導法を身につけ、教材研究・開発に取り組みます。遠隔授業のあり方の研究も進めています。

模擬保育室

実際に保育室で利用する、幼児サイズの机やイス、お道具箱、電子ピアノなどを完備しています。手洗い場があり、絵の具を使った表現遊びなどにも取り組みます。附属幼稚園との連携もあり、より実践力のある保育者をめざして学びを深めます。

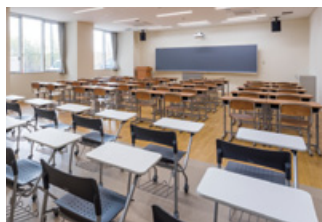


模擬レッスン室

授業で行う本番の模擬授業の前に、学生同士が自主的に行う模擬授業。文教の伝統の通称「モギモギ」。モギモギに取り組む学生が自由に使用できる、学生のための教室。年間を通じて、模擬授業に取り組む学生の姿が見られます。



模擬授業室



学校現場で授業を行うことを想定して、教室の広さ、黒板のサイズ、学校で使われているものと同じ机や椅子、ロッカーや掃除道具入れに至るまで現在の学校の教室を再現するとともに、近未来の学校を意識したICT機器等も整備しました。

文教ガーデン

根の谷川や可部の街が一望できます。学生同士の開放的なコミュニケーションの場とするとともに、勉強の合間のリラクゼーション空間としても利用できます。



「学生表彰者報告」 平成30年度卒業生20名が表彰されました。

【学生表彰者】

学術活動において特に顕著な成績を上げた と認められる者	課外活動の振興に対する 功績があったと認められる者 (和太鼓部)	課外活動の振興に対する 功績があったと認められる者 (サッカー部)
◎初等教育学科 山田 奈央 ◎人間福祉学科 嘉本 優 ◎心理学科 名嘉 みらい ◎人間栄養学科 前田 真子 ◎グローバル コミュニケーション学科 木曾 智美	◎初等教育学科 池田 泉 ◎初等教育学科 菅 麻祐子 ◎初等教育学科 仲本 梨央 ◎グローバル コミュニケーション学科 中野 瑠子	◎初等教育学科 楠 章加 ◎初等教育学科 松岡 沢実 ◎初等教育学科 山村 彩佳 ◎心理学科 前田 花恋
社会活動において、特に顕著な功績を残し、 社会的に高い評価を受けたと認められる者 (地域連携ボランティア団体 「すまいるコネクト」代表としての活動)	学内ボランティア活動において 功績を評価された者 (学内美化活動ボランティア団体 「くり〜ん」代表としての活動)	
◎心理学科 岩田 七海	◎心理学科 田坂 舞	

【表彰理由】 国土交通省主催「水のめぐみ」とふれあう水の里の旅コンテスト2017
特別賞(観光庁観光資源課長賞)受賞のため

【表彰歴】 平成30年2月9日(金)(於 学長室)

- | | |
|--|--|
| ◎グローバルコミュニケーション学科
石井 夏帆
◎グローバルコミュニケーション学科
柿木 理那
◎グローバルコミュニケーション学科
中野 瑠子 | ◎グローバルコミュニケーション学科
藤安 菜摘
◎グローバルコミュニケーション学科
村上 彩音 |
|--|--|

Ranking

大学ランキング

『大学探しランキングブック2019』(大学通信)において、
『全国の高等学校の進路指導教諭が評価する大学ランキング』で
中国・四国地区の大学にて上位にランクインしました。



教育力が高い大学

中国・四国地区の大学

私立大 第1位
(国公立大 第4位)



小規模だが評価できる大学

中国・四国地区の大学

私立大 第2位
(国公立大 第5位)

ほかにも、「面倒見が良い大学」「入学後、生徒を伸ばしてくれる大学」では
中国・四国私立大第3位にランクイン！

「かわなみサイクリングロード」 ロゴ制作

初等教育・佐伯ゼミ(図画工作)

太田川沿いの
景観や四季を
イメージ
しました。

広島市北部の太田川沿いをコースとした「かわなみサイクリングロード」計画にあたり、初等教育・佐伯ゼミがロゴを制作しました。

広島安佐商工会青年部などがつくるサイクリングロード実行委員会から依頼を受け、現地を視察するなどして検討を進めました。ゼミで学ぶ学生が制作した計8案からひとつが選ばれ、2018年10月からPRに使用されています。

このロゴを見て、サイクリングに訪れる人が増えると嬉しいですね。



現地視察でイメージをふくらませました。



オープニングイベントではのぼりなどにロゴを使用！
自転車ロードレースのプロチーム
「VICTOIRE(ヴィクトワール)広島」の選手も登場！

平成29年度 財務報告(学園全体)

貸借対照表(平成30年3月31日)

(単位:円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	8,284,532,859	8,477,073,790	△ 192,540,931
有形固定資産	7,998,561,314	8,186,026,091	△ 187,464,777
土地	2,886,312,172	2,886,312,172	0
建物	3,463,259,181	3,621,868,169	△ 158,608,988
その他の有形固定資産	1,648,989,961	1,677,845,750	△ 28,855,789
その他の固定資産	285,971,545	291,047,699	△ 5,076,154
流動資産	2,921,986,991	2,634,074,430	287,912,561
現預金	2,857,397,361	2,414,991,620	442,405,741
その他の流動資産	64,589,630	219,082,810	△ 154,493,180
資産の部合計	11,206,519,850	11,111,148,220	95,371,630

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	572,736,239	517,135,006	55,601,233
長期借入金	185,805,000	108,150,000	77,655,000
その他の固定負債	386,931,239	408,985,006	△ 22,053,767
流動負債	572,536,407	449,111,419	123,424,988
短期借入金	10,020,000	10,020,000	0
その他の流動負債	562,516,407	439,091,419	123,424,988
負債の部合計	1,145,272,646	966,246,425	179,026,221

純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	16,240,178,592	16,173,857,814	66,320,778
第1号基本金	16,014,178,592	15,950,357,814	63,820,778
第3号基本金	56,000,000	53,500,000	2,500,000
第4号基本金	170,000,000	170,000,000	0
繰越収支差額	△ 6,178,931,388	△ 6,028,956,019	△ 149,975,369
翌年度繰越収支差額	△ 6,178,931,388	△ 6,028,956,019	△ 149,975,369
純資産の部合計	10,061,247,204	10,144,901,795	△ 83,654,591
負債の部及び純資産の部合計	11,206,519,850	11,111,148,220	95,371,630

(注記)
1.減価償却額の累計額の合計額 8,008,103,403円
2.徴収不能引当金の合計額 1,906,000円
3.翌会計年度以降の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 0円